

### 3. 2017 年度活動の概要の記述

教材研究会では、今年度は教材の Share Japan をテーマとして研究会を定期的  
に開催し、調査研究を実施してきました。また出版社とも会議を開催し、出版  
に向けて具体的に協議を実施してきました。さらに情報共有のために必要に応  
じてメールで情報交換をしております。その中心となる4つの課題について具  
体的にその傾向を分析しました。1) グローバル化と英語力に関して、学生は  
総じて英語力の養成は重要であると認識している。2) 到達目標に関して、英  
語のリスリング力の養成に多くの学生が興味を抱いている。3) コミュニケー  
ションと文法は対立的な関係ではなく補完的な関係であると指摘している。  
4) 英語の学び方に関して、英語体験を多くすることで英語力は養成できると  
認識している。

以上の4つの課題を具体的な質問事項とその結果を円グラフに表記し、以前  
に全国大会でポスターセッションとして発表しました。このテーマに興味を持  
たれた会員と本研究を深め合えるように努力してきました。

今年度は今迄のアンケート調査を分析しつつ、「日本人学生の基礎英語力養  
成」のための教材開発に取り組んできました。その項目の一部を挙げると次の  
ようになります。

- 1) My Favorite Places to Visit
- 2) Ninja
- 3) Sports
- 4) Ancient Japanese Agriculture

このような学生の興味あるトピックを掲げながら、学生の英語学習の主体的な  
取り組みを支援できるような教材を編集しております。特に「日本文化を発信  
する」という積極的な学習態度を支援しつつ、基礎文法の活用の仕方を紹介す  
ることにより、大学生ができないと思っているコミュニケーション能力を養成  
できるようにしたいと考えております。今年度は教材として出版できる方向  
へ出版社と具体的に交渉を実施することができたことです。来年度もこの研究  
活動を継続し出版へ向けて全員で取り組んでいきたいと願っております。